

# 会 議 録

## 1 会議名

令和2年度第8回名立区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 1 報告事項（公開）

- (1) 諮問答申結果について
- (2) うみてらす名立の今冬の営業について

### 2 協議事項（公開）

- (1) 自主的審議事項「ろばた館の存続に向けて」
  - ①地域との協議の状況
  - ②委員間の協議

### 3 その他事項（公開）

- (1) 令和2年度第9回地域協議会の開催予定

## 3 開催日時

令和2年11月26日（木）午後6時30分から午後7時35分まで

## 4 開催場所

名立区総合事務所 第2会議室

## 5 傍聴人の数

4名

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：石井浩順、小林晴子、大門廣文、高宮秀博、徳田幸一、中野祐、二宮香里、畑芳雄、原田秀樹、三浦元二
- ・ 事 務 局：今井所長、山田次長（総務・地域振興グループ長兼務）、沢田市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、渡邊地域振興班長、藤井主任
- ・ 施設経営管理室：小関経営管理係長

## 8 発言の内容

### 【渡邊班長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【原田会長】

- ・挨拶
- ・今井所長に挨拶を求める。

### 【今井所長】

- ・挨拶

### 【原田会長】

- ・事務局に資料の確認と会議録の確認者の発表を求める。

### 【渡邊班長】

- ・会議録の確認者：大門委員、高宮委員
- ・配布した資料の確認

### 【原田会長】

- ・次第2、報告事項（1）諮問答申結果について、事務局に説明を求める。

### 【渡邊班長】

- ・資料 No. 1 に基づき説明

### 【原田会長】

- ・次に報告事項（2）うみてらす名立の今冬の営業について、事務局に説明を求める。

### 【今井所長】

- ・資料 No. 2 に基づき説明

### 【二宮委員】

- ・資料中の2、変更する内容の（1）「地場物産館海の楽市」（物産館1階）の営業についての②の項目で、「汐彩は期間中全日休業」とあるが、何か理由はあるのか。

### 【施設経営管理室：小関係長】

- ・「汐彩」については、同じフロアに民間のテナントも1軒入っており、利用者数が著しく減少している中で、競争をなくすため休業する。なお、2階のレストランは営業しており、うみてらす名立からは人員配置等を見直し、経費削減に努めると話が

あった。

**【徳田委員】**

- ・うみてらす名立は、道の駅に登録されていることもあり、利用者数が増えていると聞いていて、駐車場を見ても県外ナンバーが一時的に増えていたが、最近は大下火になっているように感じている。私も2日に1回はうみてらす名立を利用しているが、物産館へ行っても、客が少ない様子なので、冬期間の営業時間変更は妥当だと思う。

**【施設経営管理室：小関係長】**

- ・引き続き、施設側あるいは地域の皆さんと、うみてらす名立の運営方針について協議をさせていただきながら、適切な運営に努めたい。

－ 施設経営管理室 退室 －

**【原田会長】**

- ・次に、次第3の協議事項に入る。自主的審議事項「ろばた館の存続に向けて」ということで、まずは①地域との協議の状況について、事務局に説明を求める。

**【今井所長】**

- ・資料 No. 3 に基づき説明

**【原田会長】**

- ・地域の皆さんからいただいたご意見は非常に多いため、この場で全てを読むことは難しいと思う。各自で次回の協議会までに熟読してほしい。
- ・本日は、委員の皆さんがそれぞれの会場に参加して感じたことや質問、今後の進め方などについて、意見交換を行いたいと思う。
- ・私は全ての会場に参加した。どの会場でも地域の皆さんは、ろばた館の維持管理に経費がかかっていることは理解されていた。「経営状況は厳しいが、地元としても努力をして、ろばた館を何とか継続したい」というご意見が非常に多かったと感じた。

**【小林委員】**

- ・地域との協議の場でも話は出たが、集客数を増やすには、名立区民だけでは限界があると感じた。新型コロナウイルスの影響もあり、来客が減っている状況でもあるため、もっと広範囲に周知するなど、人を呼び込むことが必要だと思う。

**【畑委員】**

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響があちこちで出ていて、外食産業では、大きな店よりも小部屋がある小さな店の方が好まれる傾向にあると感じている。このよう

な中で、ろばた館はこれからの時代、大事な施設ではないか。もちろん大きな施設も必要だが、小さくて少人数で集まれるろばた館も大事にして、今後も継続できればよいと思う。

#### 【徳田委員】

- ・私は地域の皆さんとの協議に4回出席した。地元の方や、ろばた館を利用する団体の皆さんの話を聞いて、本当に切実な問題だと感じた。市は行政改革推進の観点から施設の廃止を進めているが、手元の資料を見ると、平成23年10月には991あった公の施設が、令和2年4月では731施設にまで減少している。
- ・同じ資料の中に、「継続すべき施設については、未永く利用していただくため、適切に維持管理し、長寿命化を図る」という文言があるが、私はこの文言を非常に気になっている。文言ではこのように書いてあるが、行政からはその気持ちが伝わってこないように感じる。
- ・今年の4月では731施設あるが、将来的に残っていく施設はどのくらいあるのか。今ある施設を「○」、「△」、「×」に分類したとき、ろばた館は「×」に分類されてしまう。名立区民の意見を吸い上げ、何とか「○」または「△」に変えるため、行政としても努力をしてほしい。

#### 【三浦委員】

- ・まずは、何のために地域の皆さんや関係団体の皆さんと協議をさせていただいたのかというところに立ち返るべきであって、その中でどのような意見、願い、思いが出てきたかをしっかりと認識しなければいけない。
- ・今は、地域協議会の一個人として議論を交わす段階ではないと思う。やはり、地域の皆さんの思いをどう受け止めて、どのような方法で地域協議会として方向性を示すのかという話になる。
- ・もちろん、委員個人の思いは大切だが、それよりも地域の皆さんの声、総意というものをどのように受け止めて、そこからどんな形でスタートするかという部分になると思う。
- ・本日は個人的な考え方について意見交換するよりも、地域の皆さんの思いを取りまとめる作業を早々に行い、それができた段階で今後の進め方について決めていくべきだと思う。

#### 【中野委員】

- ・事務局に質問だが、資料 No. 3 をざっと読むと、ほとんどの方がろばた館の存続を望んでいることが分かる。
- ・当然、名立区の住民としては存続の意見が多くなると思うが、市としては財政上の観点から廃止したいという考え方だと思う。名立区民の意見を重視するなら、ろばた館は「継続」になると思うが、市では今度、どのように取り扱っていくのかを知りたい。

#### 【今井所長】

- ・行政懇談会でもお話しさせていただいたとおり、ろばた館には多大な公費が投入されているといった観点から廃止を検討しているが、この多大な公費をどうやったら圧縮できるか、例えば、昨年度のろばた館の利用者約1万人で、今夏の調査で利用者の約50%が名立区の住民であったことから、約5千人の名立区民がろばた館を利用しているという計算になる。単純な計算で、計算どおりはいかないと思うが、名立区の人口を2,500人とすると、1年間で平均2回、ろばた館を利用されていることになる。この年2回の利用を毎月の利用に増やすなど、少しでも公費を圧縮するような方策を皆さんと一緒に考えていきたい。
- ・関係課との協議でも、総合事務所として「地域の皆さんは存続に向けてこれだけ頑張ってくださいしているし、廃止とは違った方策も検討できないか」と言うことはできると思う。
- ・「ろばた館を残してほしい」という気持ちを、どうやって目に見える形にしていくかをこれから考えていく必要があると考えている。

#### 【徳田委員】

- ・民意を行政に伝えていくことも、地域協議会の大きな役割であると認識している。
- ・民意を届けていくための方法としてアンケートがあり、前期の地域協議会では、ろばた館の存続に向けたアンケートを作成したが、発送の直前で行政側からストップがかかった。
- ・これにより、民意を集めて行政に伝えることができなくなってしまい、この時からろばた館の問題がなかなか前に進まなくなってしまった。
- ・民意を行政に届けることは大切な事だと思うので、届ける方法を考えていただきたい。

#### 【三浦委員】

- ・11月24日に住民福祉会がろばた館で、75歳以上の一人暮らし世帯や75歳以上の方のみの世帯にお声がけをし、交流会を開催した。その際に、民生委員の方からも参加していただき意見交換をしたが、ろばた館の話題が多く出た。
- ・その中で出たご意見として、「ろばた館に関する話が決定事項として地域に伝えられているような印象であるため、このような状況になる前に、もっと早く地域に伝えてほしかった」という意見が多くあった。
- ・今回の行政懇談会にしても、「町内会長会議と同じ場では、一般の住民として発言ができなかった」という声も聞いている。
- ・徳田委員がおっしゃるように民意を行政に届けるのであれば、アンケートを行えば、地域の皆さんの声を膨大に集めることができると思うが、まずはろばた館に関する地域との協議の中で、地域の皆さんからいただいたご意見をしっかりと受け止め、集約をしていくことが必要ではないかと思う。
- ・今井所長からは、「地域として何か形に表してもらえれば」というような話があったが、少し奇異に感じた。
- ・よく「使って残そう」、「利用して残そう」という話になる。例えば、私は名立駅マイ・ステーション作戦実行委員会での、「北陸線を残していこう」、「名立駅を残していこう」、「バスを残していこう」という活動の中で、様々な方のご意見を伺ったが、「あなたは今日、この会場に何で来ましたか?」、「鉄道を残したいのなら、鉄道を利用して会場まで来るのが当たり前でしょう」という論法をする方が多い。
- ・しかし、その思いをどうやって行動に表すのかは、人それぞれで違いがある。できる人もいれば色々な事情があってできない人もいる。それは、今井所長も承知のうえで、地域の声を形にするための一つの方法として提案したものだと思うが、今は具体的な方策を考えるよりも、地域の皆さんの声を一つにまとめ上げることが必要ではないか。
- ・資料をざっと見た限りでは、「存続」という方向で意見を取りまとめることができるのではないかと思うが、人それぞれで思いが違う部分もあるので、一人ひとりの思いをしっかりと受け止めなければいけない。これが私たちのスタート地点であり、その後の話については、次の段階として皆さんと話し合ってはどうかと思っている。

## 【二宮委員】

- ・私は下名立地区の会場に参加したが、ろばた館の収入を増やす方法として、うみてらす名立とろばた館の両方で使えるプレミアム券を発行し、事前購入していただくことで収入を増やせるのではないかという意見があった。
- ・市の財政状況が厳しい中、少しでも収入を増やす方法として他にも、バスの回数券の様に10回分の金額で11回利用できるような回数券を作成し、名立区の方に事前購入していただくという方法も良いかと思う。
- ・実現するのは大変かもしれないが、私たち名立区の住民も、そのくらいの覚悟をもって、ろばた館を存続してほしいという気持ちを行動に移さなければいけない。
- ・ろばた館は残してほしいが、お金に関することは行政にお任せという訳にはいかないと思う。
- ・アンケートの話もあったが、ろばた館を存続させるために、住民の皆さんはどのくらいの覚悟があるかをお聞きしたいし、住民との意見交換会の中でも「温浴を利用しない方からも入館料をもらってはどうか」という意見も出ていたので、少しでも収入を増やす方法を考え、実行していければ良いと思う。

#### 【徳田委員】

- ・資料No. 3の6ページ目、No. 50の内容を見ると、今ほど二宮委員からお話のあった内容が記載されている。これは、二宮委員が住民の方から発言の依頼を受けて代弁した内容だと思う。
- ・これに対して市は「名立で他のサービスを削ってでもろばた館を維持・存続したいとの意見があれば、対応を検討したい」と答えている。ろばた館を維持・存続させるために削られる他のサービスとは具体的にどのようなサービスを指しているのかを知りたい。

#### 【今井所長】

- ・具体的にどのサービスを削るという話ではなく、二宮委員がおっしゃったように、住民の皆さんがそのくらいの覚悟をもって、ろばた館の維持・存続を望んでいるのなら、その気持ちを汲み取らなければいけないという趣旨での発言である。
- ・「このサービスを削れば、ろばた館は存続できる」という意味での発言ではなかったことをご理解いただきたい。

#### 【小林委員】

- ・地元の皆さんからは、「ろばた館を今後も存続させたい」というご意見が多数あったが、市は「ボイラー等大規模設備の耐用年数は過ぎているが、入れ替えは予定していない」と説明があった。
- ・何回話しをしたとしても、設備が壊れれば結局はそこで話が終わってしまう気がした。
- ・市民の方がろばた館で作品の展示会を行ったり、市外の方からもろばた館を利用しただけのような方策を考えたりするなど、もう少し前向きな議論ができれば良いと思う。

#### 【今井所長】

- ・小林委員がおっしゃるような具体的な方策は、これから考えていく必要があると思うが、先ほど三浦委員がおっしゃったように、まずは「地域の思い」をはっきりさせ、方向性をまとめた上で、その次の段階として残すための具体的な対処法を考えていってはどうか。

#### 【徳田委員】

- ・資料 No. 3 では、16 ページに渡って住民の皆さんの思いがまとめられている。自分の出席した会場の部分は頭に入っているが、それ以外の会場でいただいたご意見はまだ把握できていない状況である。まずは各自で資料 No. 3 を熟読し、次回の協議会で議論してはどうか。

#### 【中野委員】

- ・以前の説明でもあったように、名立区の人口は年々減り続け、ろばた館の利用者数も減少している。この先も人口減少は進み、それに伴ってろばた館の利用者数も減少していくことが予想されると思う。
- ・このままだと、また同じ話を数年後にもっと深刻な形で繰り返すのではないか。そうならないためにも、どこかで方向性のようなものを出さなければいけないと思う。
- ・このような話は、名立区だけの話ではなく、他の地区でも同じような話があると思う。名立区では、「ろばた館を存続してほしい」という意見が多いが、他の地区に行けば、その地区にもろばた館のような施設があって、その地区の住民からは「施設を存続してほしい」という意見が出るのだと思う。どの地区の施設を残し、どの地区の施設を廃止するのは非常に難しい問題だと思う。

- ・地区としての覚悟を見せて良い意見を言えば、その施設は存続になるのか。そんなに簡単な話ではないとは思いますがどうか。

#### 【今井所長】

- ・行政改革を進める立場の課としては、何とか経費を削減したいと思っているし、地域と関わっている総合事務所の立場としては、地域の皆さんの声を反映させたいと思っている。
- ・地域の皆さんからいただいたご意見を基に、関係課との協議を進め、市の考え方をお示ししたいと思っているが、行政懇談会后、関係課との協議をまだ行っていないため、本日は市の考え方についてお答えできないことをご理解いただきたい。

#### 【三浦委員】

- ・繰り返しになるが、今回の行政懇談会及び関係団体との意見交換会では、ろばた館の代替機能を示した資料が配布され、具体的な話になったが、個別の問題に細分化されてしまい、「名立区全体のこれからのまちづくり・まちの在り方」という議論から遠のいてしまっていると感じた。
- ・また、資料 No. 3を見ると、ろばた館だけの問題ではなく、ろばた館と関連して中山間地域はどうなるのか、高齢者の生活はどうなるのかというご意見が多くあると思う。
- ・資料 No. 3を読み込むにあたっては、「ろばた館の今後の在り方」という視点はもちろん、それに伴って「この地域で今後どうやって暮らしていくのか」という視点まで含めて、地域協議会として捉えていかななくてはいけないと思う。
- ・まずは地域の皆さんのご意見をしっかりと受け止めて、今後どのような方法で進めていくのかを考えなければいけないと思う。
- ・この意見の集約について、一般的には事務局が行うと思うが、それも地域協議会委員で行うというのが本来あるべき形ではないかと思うので、検討してほしい。

#### 【原田会長】

- ・資料 No. 3は、地域の皆さんからいただいたご意見を並べた段階であり、この資料を基にどのような切り口で議論を展開していくかが大切だと思う。三浦委員からは、資料 No. 3の集約は委員が行うべきではないかというご意見もあったが、まずは資料を読み込んでいただきたい。

- ・この資料をどのような方法で集約するのかについては、事務局と協議させていただく。委員の皆さんにも意見集約等、ご協力をお願いする場合があると思うが、その際にご対応いただきたい。
- ・次に議題3、その他事項（1）令和2年度第9回地域協議会の開催予定について、事務局に説明を求める。

#### 【渡邊班長】

- ・日時：令和2年12月15日（火）午後6時30分から
- ・次回の会議終了後に、地域協議会だよりの編集委員会を開催するので、編集委員の方はご出席いただきたい。

#### 【今井所長】

- ・9月17日に開催した第5回地域協議会の際に、委員へ配布した資料の修正について説明する。
- ・本日配布した「公の施設の再配置計画における各施設の方向性」という資料をご覧ください。
- ・公の施設の再配置計画における各施設の方向性については、第5回地域協議会で行政改革推進課より説明を行ったが、資料の一部に誤りがあったため、修正させていただく。
- ・資料中に「再配置」という項目があり、「下名立地域生涯学習センター」の欄に色がついている。この施設はすでに休止しているが、前回の資料では「現状維持」の項目に分類されていた。
- ・現在、下名立地域生涯学習センターは休止中であり、令和4年度に廃止を予定しているため、「現状維持」ではなく「再配置」に訂正させていただく。

#### 【二宮委員】

- ・不動地区には不動地域生涯学習センター、上名立地区には公民館上名立分館があり、北部地区には名立地区公民館があるが、下名立地域生涯学習センターが廃止になると、下名立地区にだけ公民館機能を有する施設がなくなってしまう。

#### 【沢田グループ長】

- ・下名立地区には円田荘がある。

#### 【二宮委員】

- ・円田荘は、公民館機能を有する施設ではない。

#### 【沢田グループ長】

- ・平成29年に、下名立地区には公民館下名立分館、下名立地域生涯学習センター、円田荘と類似する施設が多くあり、地域活動の拠点をどこにしようかということを経験的に話し合った結果、円田荘を拠点施設とすることに決めた。この結果を受けて、他の施設を廃止や休止としてきた経緯がある。

#### 【二宮委員】

- ・令和7年度以降も円田荘は継続して利用できるのか。

#### 【沢田グループ長】

- ・円田荘は、農村振興課が所管している施設であり、地域集会施設に区分されているので、今後も地域活動の拠点施設として活用していただきたい。

#### 【原田会長】

- ・昨日、28区の地域協議会の会長が集まる地域協議会会長会議に出席した。感想としては、どこの区の会長も同じような悩みを持っているということだ。
- ・どこの区でも、自主的審議事項で取り上げる内容はその区にとって重要な案件だが、なかなか解決策が見つからず苦労しているようだ。
- ・野澤副市長からご講演をいただいたうえで、地域自治について考えながら意見交換をする場であった。
- ・どこの区の皆さんも、同じような思いを持ちながら地域を支えているということを感じた。
- ・ろばた館の事だけでなく、名立区をどうしていこうかという議論をしなければいけない時期に来ていると思っている。皆さんと一緒に考えていきたいと思っているので、引き続きご協力いただきたい。

#### 【渡邊班長】

- ・前回の協議会で二宮委員から質問のあった委員アンケートのその後の状況について、自治・地域振興課に確認したので報告する。
- ・前回もお伝えしたように全委員を対象としたアンケートであり、集計に時間を要していたが、概ね目途が立ったと聞いている。また、自由記載の設問が多くあったため、回答内容の整理に時間を要したとのことだ。

- ・この後、内容の整理が終わり次第、結果を皆さんにお返しする予定だが、現時点で具体的な時期はお伝え出来ない状況である。「対応が遅い」とのご指摘もいただいたが、現時点での状況ということで、ご理解いただきたい。

#### 【徳田委員】

- ・そのアンケートについては、10月に行われた市民大学講座でも「集計が遅い」という話題になった。
- ・市民大学としてもアンケートの結果が出ないと、今年度の活動に支障をきたすとの話であった。
- ・自治・地域振興課長に確認したところ、「自由記載の設問に多くの記述をいただいております、集約に時間を要している」という話であった。

#### 【原田会長】

- ・会議の閉会を宣言
- ・高宮副会長に挨拶を求める

#### 【高宮副会長】

- ・挨拶

### 9 問合せ先

名立区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL 025-537-2121 (内線 223)

E-mail: [nadachi-soumu.g@city.joetsu.lg.jp](mailto:nadachi-soumu.g@city.joetsu.lg.jp)

### 10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。